

あいさつをする済陽輝久理事長(右)とブルース・マーフィー病院長。浦和ロイヤルパインズホテル



米の提携病院と懇親会開き交流

さいたま、三愛病院

さいたま市桜区の医療法人社団松弘会三愛病院(済陽輝久理事長)は、さいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで同病院が昨年12月に提携を結んだ米アーカンソー州のアーカンソー・マーフィー同ホスピタル病院長が来日したのに合わせ、懇親会を行った。

同ホスピタルは、全米でトッ

プクラスの患者満足度を誇る循環器専門病院で、その患者主体の病院経営手法を高齢化や生活習慣の変化による血管疾患が増加する日本の医療機関に提供するために2006年に日本法人を設立。現在までに四つの国内病院と循環器医療システムの構築と病院経営改善のための提携を結んでおり、県内では三愛病院と初めて提携した。

同病院とは提携以来、循環器専門の三愛・パートナー循環器センター開設のために協働し、優秀な医師の採用支援や人材育成研修、効率的臨床ワークフローの開発支援などが行われている。済陽輝久理事長は「高度先進医療を提供するアメリカの医療技術を吸収し、埼玉での地域医療に取り入れていきたい」と話し、ブルース・マーフィー病院長は「三愛病院とパートナーシップを結べて光栄。同病院が埼玉一の循環器病院となるようサポートしていきたい」と話していた。(前田一亮)

埼玉新聞掲載

(2011年5月15日 県央版掲載)

アーカンソー・マーフィー同ホスピタルと提携
埼玉ナンバーワンの循環器病院を目指して!